



分科会名:スタートアップ分科会

2024.5

- リーダー機関 株式会社三井住友銀行
- 代表者名 副会長 角元 敬治
- リーダー名 担当部長 前川 卓郎 (関西成長戦略室)

分科会メンバー



属性	団体名	役割
リーダー機関	三井住友銀行	分科会取りまとめ
メンバー機関	日本総合研究所	分科会取りまとめサポート
メンバー機関	三菱UFJキャピタル	分科会運営サポート、意見発信等
メンバー機関	池田泉州銀行	同上
メンバー機関	大阪産業局	同上
メンバー機関	丸紅	同上
メンバー機関	三井住友信託銀行	同上
メンバー機関	三井住友海上火災保険	同上
メンバー機関	フォースタートアップス	同上
メンバー機関	西日本電信電話	同上
メンバー機関	住友生命保険	同上
メンバー機関	阪急阪神不動産	同上
メンバー機関	SUNDRED (MIRACLE代表法人)	同上
メンバー機関	キヤノン	同上
メンバー機関	日本ベーリンガーインゲルハイム	同上
メンバー機関	ノーベルファーマ	同上
メンバー機関	DCIパートナーズ	同上

～関西におけるスタートアップエコシステムについて～

エコシステム形成に向けた意義

- 政府によるスタートアップ育成5か年計画の策定、スタートアップエコシステム拠点都市への選定や万博を契機としたイノベーション創出機運などもあり、関西では、産・学・官・金などそれぞれで活発な動きが増加（KSAC、KSIIの設置、財界団体の活動、商工会議所の連携、行政の支援プログラム、民間での施設整備や支援メニュー策定、民間企業における専門部署設置など）。
- 様々な機運の高まりや、プログラムの充実が進んできた今こそ、関西地域に適したエコシステム形成を進めて確固たる枠組みをかたちづくるべきと思われる。そして、一過性の取り組みではなく定着化していくことが重要である。

スペシャルトライアル

- バイオ関連スタートアップ企業の中から、スペシャルトライアル企業を選び、スタートアップ分科会メンバー（含むBiocKアドバイザーメンバー）にて具体的なサポートを検討、実施していく「スペシャルトライアル」を実施中。
- スタートアップ企業の課題解決に向けたサポートを行い、その実績を積み上げるとともに、方法に関する効果検証を行いながら必要に応じて軌道修正を図り、関西におけるバイオ産業でのスタートアップエコシステム形成に還元していく。

～スタートアップ分科会が目指す方向性～

1 連携強化

- ✓ エコシステム構築のため、スタートアップを取り巻く各ステークホルダーや、国内外バイオコミュニティとの連携を強化し、ヒト・モノ・カネの各観点からスタートアップの成長サイクルの回転を促す。

2 人材育成強化

- ✓ スタートアップの課題として、経営人材、事業化人材の不足が挙げられる。主体的にシーズを目利きし、事業・産業として成長を促す人材を交流事業を通して育成する。

3 情報発信強化

- ✓ 関西バイオコミュニティとしての魅力を発信し、国内外からの認知を高めるとともに、人材獲得・国内外からのアクセス・投資および技術導出を促す。

- ✓ 現在は多様な枠組みが創出されているものの、エコシステム形成に向けた過渡期と理解（一定の成果を示せなければ失速する懸念あり）
- ✓ 「関西のバイオ産業の強み」を活かしたエコシステム構築のための研究、試行、発信を行い、関西ならではのエコシステム形成と定着に貢献

～スペシャルトライアル～

課題

- 類似する支援施策やイベントが数多く開かれる現状において、分科会メンバーにて支援施策を検討していくにあたり、関西地域に根を張るスタートアップ企業が抱える課題を正しく把握する必要がある。

取り組み

- 分科会メンバー/関連協力機関からの紹介により支援企業を選定し、企業/技術概要、技術・ビジネスモデルに関する優位性・課題に関する共有の機会を設ける。
- 共有された課題に対し、分科会メンバー/関連協力機関によるアドバイスの提示・解決策の提示を目指す。
- 既存の枠組みでは解決できない課題に対する（既存施策と重複しない）支援施策を検討する。また、関連協力機関・政府自治体・国内外バイオコミュニティ等との連携を図り、課題の共有と、各レイヤーにおける施策を提言する。

分科会メンバー/関連協力機関からの紹介



スタートアップ企業が直面する課題の共有
分科会メンバー/関連協力機関によるアドバイス・解決

スタートアップ企業が抱える課題の類型化
既存の枠組みでは解決できない課題解決の検討



新たな支援施策の確立

課題	解決策
課題1	解決策1
課題2	解決策2
課題3	解決策3
課題4	解決策4
課題5	解決策5
課題6	解決策6
課題7	解決策7
課題8	解決策8
課題9	解決策9
課題10	解決策10

2023年度活動内容(1)

(スタートアップ分科会独自の活動)

- 分科会会合実施 ～ 活動内容について討議 (2023年6月6日@三井住友銀行)
- スペシャルトライアル
 - 第1回 (2023年10月2日@産創館・オンライン)
 - 有望スタートアップ7社について、分科会メンバーで支援可能性についてディスカッション
 - 第2回 (2023年10月25日@都市活力研究所・オンライン)
 - 株式会社イムノセンス
 - スリープウェル株式会社
 - 第3回 (2024年3月22日@都市活力研究所・オンライン)
 - FairMed (会社設立前)
- スペシャルトライアルによってスタートアップ企業へのアドバイス、サポートを行うとともに、その結果を踏まえて関西のスタートアップエコシステム形成に貢献していく

2023年度活動内容(2)

(BiocK全体の枠組みの中での活動)

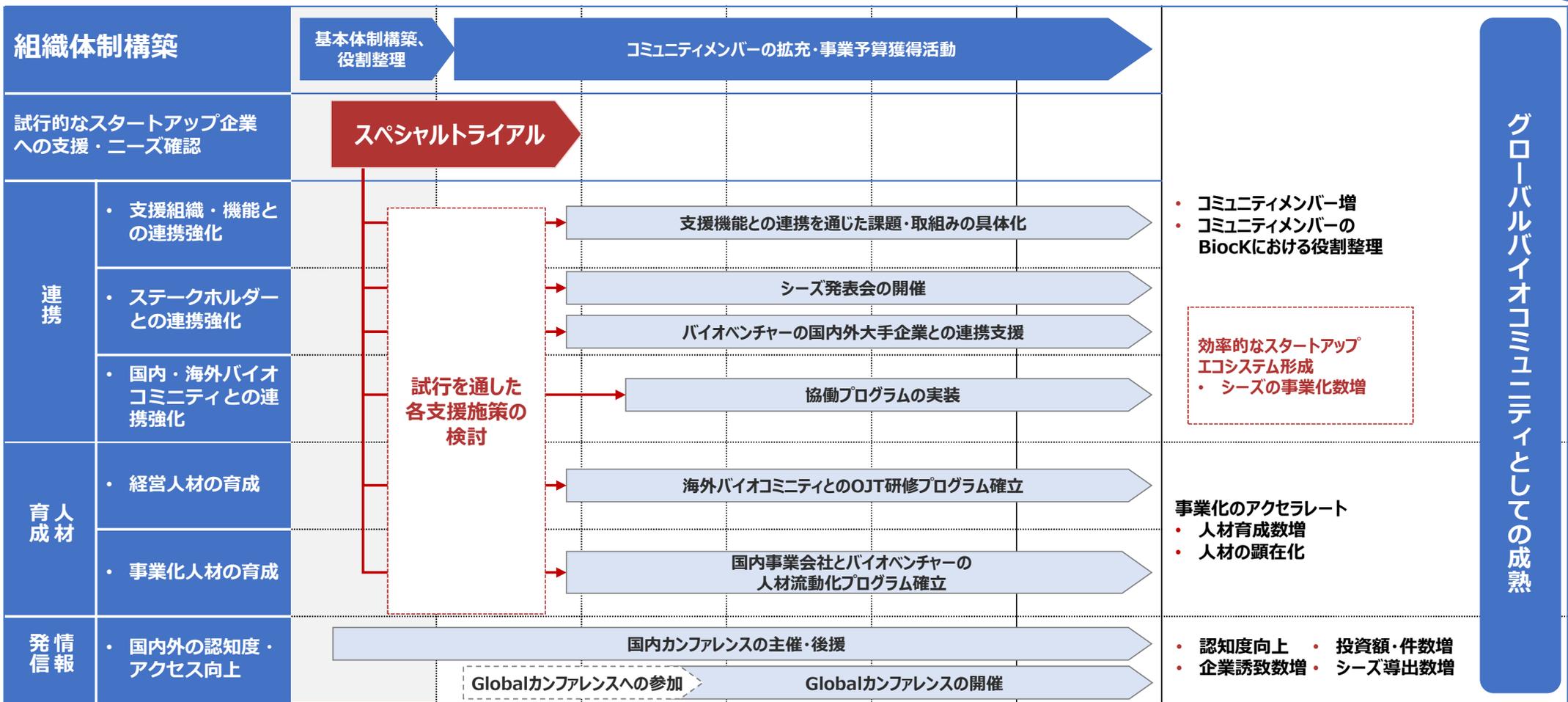
- 大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム 令和5年度 第1回実務者会議にて取り組みを説明
(2023年6月26日、高田事務局長にご対応頂く)
- 第5回委員会にオブザーバーとして参加 (2023年7月5日)
- 第3回分科会会合にメンバーとして参加、スタートアップ分科会の活動について発表 (2023年8月31日)
- 大阪府 第1回「次世代スマートヘルス・ラウンドテーブル大阪」に参加 (2023年9月7日)
- 第3回Challenge万博「いのち輝く未来社会へ」に協力 (2023年11月21～22日)
- 「U-FINO×バイオコミュニティ関西シンポジウム」にてスタートアップ分科会がパネリストとして登壇 (2023年12月20日)
- 第6回委員会にオブザーバーとして参加 (2024年2月6日)
- 大阪府 第2回「次世代スマートヘルス・ラウンドテーブル大阪」に参加 (2024年2月13日)



5か年活動計画案 (2024年度更新)

FY2023 FY2024 FY2025 FY2026 FY2027 FY2028

目指すゴール



- ・ コミュニティメンバー増
- ・ コミュニティメンバーのBiocKにおける役割整理

効率的なスタートアップエコシステム形成

- ・ シーズの事業化数増

- 事業化のアクセラレート
- ・ 人材育成数増
 - ・ 人材の顕在化

- ・ 認知度向上
- ・ 投資額・件数増
- ・ 企業誘致数増
- ・ シーズ導出数増

グローバルバイオコミュニティとしての成熟

2024年度活動計画



S/C分科会 年度末活動報告